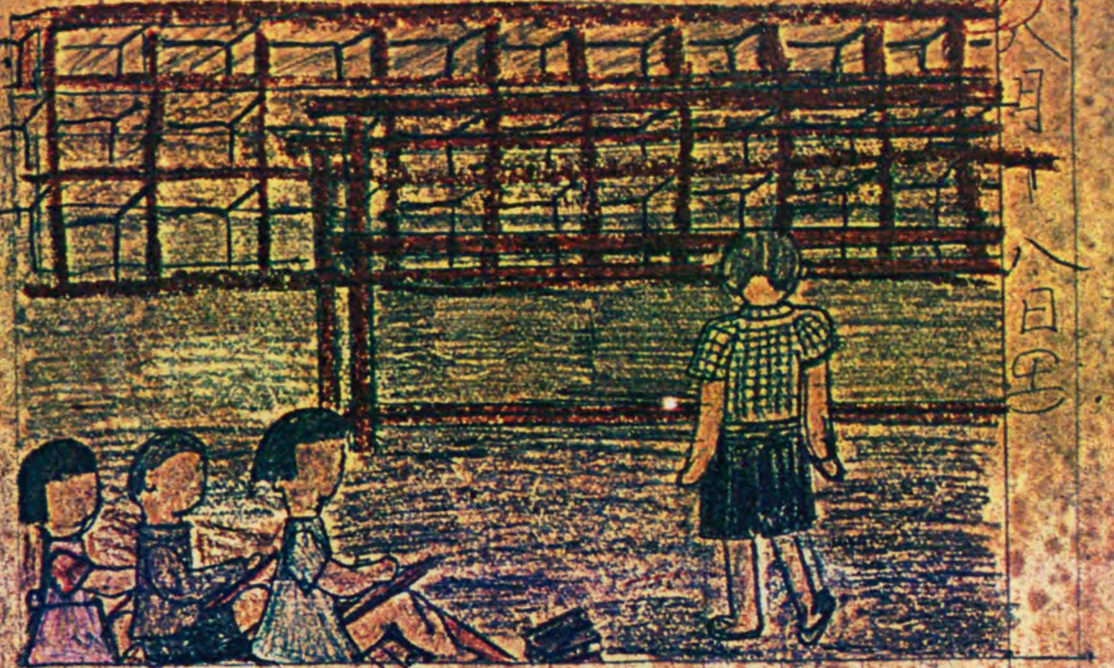
八月十七日(金)

今日は休やう日だ。朝會後すぐに寮へ歸った。それから、荷持が大部分みだれておたので、せい理をしてから、迫水さんと、日記をつけたり、本を讀んだりした。

午後もやはり、寮へ歸った。暑いが、寝むたかったので、すぐにお晝寝をした。寝るとねむくなくなってしまったので、河井さんからかうだん全集の本をおかりしてよんだ。夕食後、おさうじは四年生だけでした。おさうじがすんで、お芋の山を少しくづして、平にした。

八月十八日(土)



今日は第一日目の授業をした。圖ぐわの時間はびんくわ瓶の所で、人のじゃせいをした。五分間の間に一人書き上げるのだ。わりにむつかしい。中でも、いっとうよく書けたのは、中根さんと高澤さんだった。午後は女學校でじしゅうをした。私は、自分の持って來たトランプで、一人で遊んだ。いろいろな物をわりとたくさんおぼえたので、うれしくてしかたがない。夜、寮へ歸ってから、前野さんのお家の方が送ってくださったかりんとをいただいた。

八月十九日(日)

お洗濯

今日は日曜日だが、私達は、第二日目のお授業をした。体やう日だと、何だか、だらくして、だるいやうな氣持がする。國語の時間に、夏の事についてつづり方を書いた。私は、一年生の夏葉山に行って海でおぼれた時の事を今でもはっきりおぼへてゐるので、その事をくわしく書いた。お裁縫の時はきれのある人は手さげを作り、きれのない人は、三つをりぬいのれんしゅうを運針用布のはじでやった。午後は、前田寮に歸りお洗濯をした。お洗濯物がたまってゐると何だか氣持が惡い。

八月二十日(月)

今日は第三日目のお授業をした。郷土の時間に、金沢へ行く途中の道にある六地ざうのお話をお聞きした。私は、くわ山へのぼった時目た、六地ざうの事を思ひ出しながらお聞きした。算数の時間は、加藤先生が、御用がおありになるので私達はじ習をした。自習をしてゐるとすぐに時間が立ってしまふ。午後は、女學校で、お晝寝をしたり中川さんや、なぎ野さん達と、トランプをしたり、日記を書いたりした。お夕食は、お芋のふかしたのとおみをつけだった。とてもおいしかった。

八月二十一日(火)

今日は、第四日目のお勉強をした。二時間目のお裁縫の時間は、この前の時間のつづきの手さげ袋をぬった。三時間目の圖工は、この前したやうに、げんくわんの所で、大のしやせいをした。私も、もでるになった。音樂室に、私のお母様が、さい藤先生と話をしていらっしゃった。面會にいらっしゃったのだ。うれしくてお晝食もなかなか落ちつけなかった。午後は、お母様と寮に帰り、服洋の上げをしていただいた。久米川へ疎開して、ちやうど二年目になるので、お夕食は、大ごちそうだった。どれもく大へんおいしかった。お夕食後寮に帰ると前田さんのお家の方がおいしい西瓜をくださった。甘くてとてもおいしかった。

母馬子馬

八月二十二日(水)

今日は第五日のお授業だ。國語の時間は、母馬子馬の所へは入った。とてもよいしだ。母馬が番をして、子馬が、おいしさうに水を飲んでゐるやうすが、目に見えるやうだ。三時間目は、お習字で、靖國神社參拜の所のおせい書を書いた。お晝食の前林先生が、きのふ書いた圖畫を返して下さった。午後は寮に歸り、かみを洗ったり、お風呂には入ったりした。とても、さっぱりとよい氣持になった。お夕食後寮に歸ってから、お母様のおみやげの、乾パン、いり豆、トマト、などいただいた。トマトなど久しぶりなので、とてもおいしかった。

八月二十三日

今日は体やう日だ。休

午前中、朝會がすむとすぐに、寮に歸り、荷持のせいとんをした。有賀先生が、「十一時にけんえつをしますよ。」とおっしゃったので、私達は、一生けん命になってやった。色々と荷持の置き場所をかへて、やっと、形をよくした。午後は大雨が降って、白百合のお部屋は、四ヶ所も雨もりがした。私達は急いで、洗面器で、受け止めた。夜、お芋を二つ寮へ持って來て、お母様の持って來たジャムをぬって、いただいた。甘くなってとてもおいしかった。夜、私のお母様は、古田りよくゎんにお泊りになった。

八月二十四日

今日はきのふと大はんたいに上天氣だ。一日目の授業をした。一時間目の算數は戰爭の事について色々とお話しをうかがった。お話しの途中、お母様は、お歸りになったが、一度目の面會の時のやうに、かなしくはなかった。二時間目の國語は、母馬子馬の、むずかしいかん字のおけいこをしたり、よむ練習をしたりした。圖工の時間は、ちやうど、八百谷さんのすずり箱が出てゐたので、それをしやせいをした。なかなかむづかしい。午後はずっと學校にいて日記を書いた。

八月二十五日(土)晴

今日は第二日の授業を、圖書館ですするのだ。三時間目の國語の時間は、この間書いた作文を、いっとうはじめ、所沢さんからよんだ。みんな一人一人、よい所も悪い所もある。たいていの人は文はよく書けてゐるのだけれども、けしきの事を書くのを、忘れてゐるやうだった。「この次は、忘れずに書かう」と私は思った。小林さんと前野さんは、小さいトランプを一生けん命に作っていらっしゃった。午後は、やはり學校でお夕食まで自習をした。

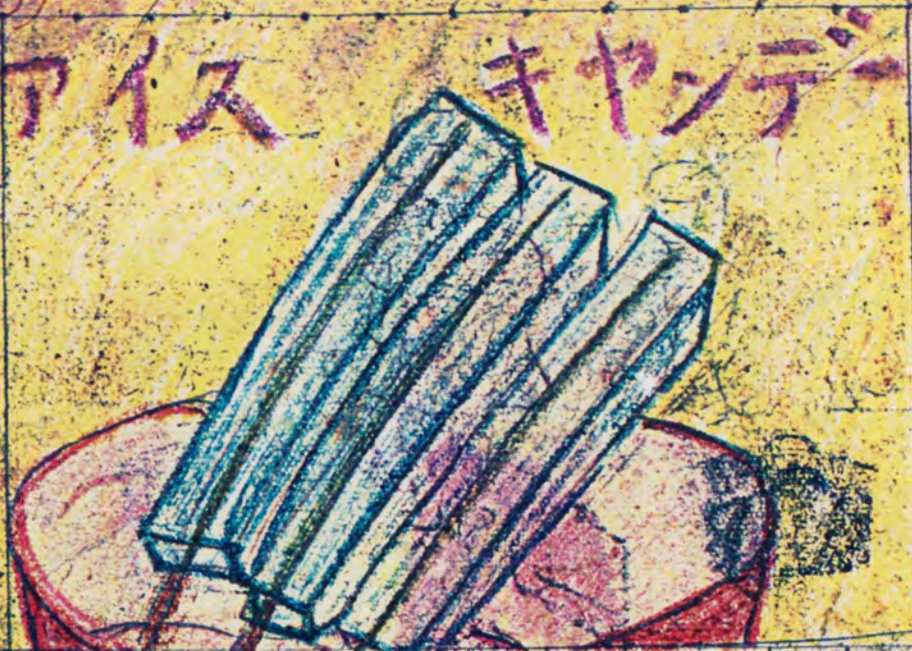
八月二十六日(日)

今日は第三日のお授業だ。けれども、岩丸先生の時間と、加藤先生のお時間ばかりなので、午前中は全部自習だった。それに四年は一号教室なので、自分のせきにすはって、私は、一生けん命、たまってゐる日記を書いた。が、四日ぐらゐ書くと、いやになって來たので、だんだん、字が、ぞんざいになって來たので、今度は、國語の書取りをした。
午後は、阿部先生の圖工だが、これも自習だった。私は、「阿部先生いらっしゃるのに、自習なんてつまらないな。」と思ったが、御用がおありになるのだからしかたがない。

八月二十七日(月)

今日は第四日の授業だ。朝食後、食器を洗ってから本を讀んでゐると、アメリカの飛行機が、とてもひくく飛んで、女學校の上をいったり來たりしてゐた。
私達は、みんな、窓の所へ行って、アメリカの飛行機を見た。どっちへ行ったかな。」と思って見てゐると、とつぜん、目の前を、見た事もない、飛行機が、とても早く飛んで行ったので私はびっくりしてしまった。「にくらし、・今だ見ろ。今度は、アメリカの國の上を飛行機でゆう〳〵と、飛んでやるから。」と思って、にらみつけてやった。お裁縫の時、やはり、手さげのつづきをぬった。私はきれがないので大へんつまらなかった。

八月二十八日(火)



今日は午前中、第五日の授業をした。一時間目の國語はこの前讀まなかつた人が、つづり方をよんだ。私もよんだ。三時間目のお習字の時、青田に鳴く蛙を飛ばして、もう一つ先の忠臣楠木正成の所の忠臣だけを、よくれんしゅうした。書いてゐるうちに、だんだんうまくなって來たやうに思へた。晝食がすむとすぐに寮に歸り、お風呂へは入ったり、かみを洗ったりした。その途中に、わりばしにさしたアイスキャンデーをいただいた。つめたくて、口の中が、こほるやうだったがとてもおいしかった。

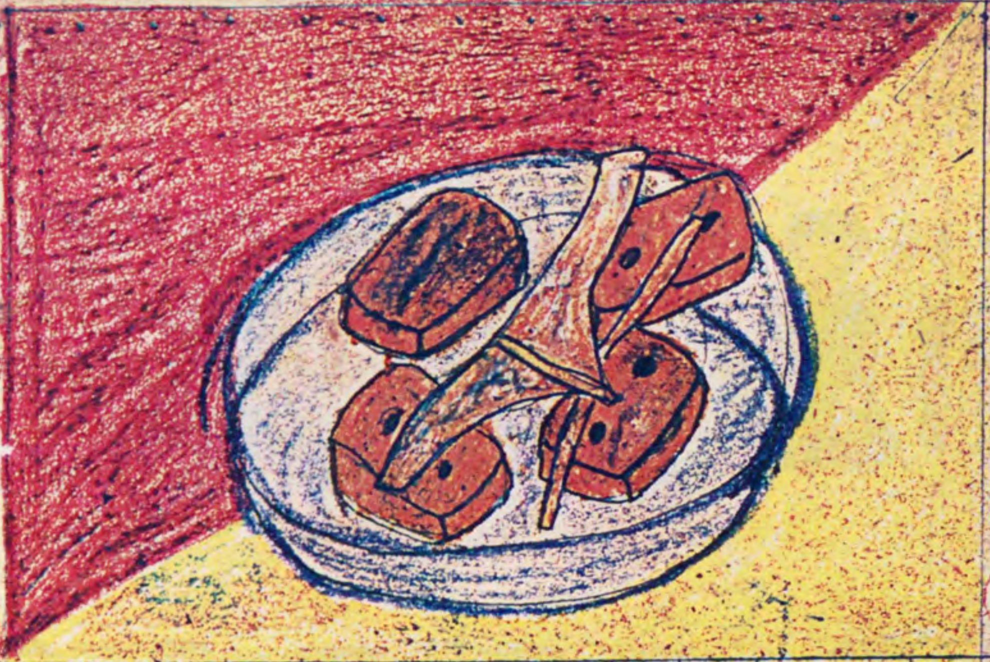
八月二十九日(水)

今日は体やう日だ。朝會がすむとすぐに寮に歸り自分の荷持をせいとんしてしまってから、日記を書いたり、ハガキを書いたり、本を讀んだりした。そして、カンパンをいただいた。お晝食は、久しぶりにお芋のは入らなた。お豆のは入った御飯だったので、いっさうよくかんでいただいた。午後寮に歸り、自分のすきな事をした。私は、ハガキを書いてから、日記を書いた。

八月三十日(木)

今日は、第一日の授業だ。朝會の前に、運動場の、畠のそばの、草取りをした。なかなかぬけないのがあるが、力を入れて、なるべく、ねっこからぬいた。今日の授業をする所は、圖書館だ。國語は、二十、東郷元帥の所をやった。くわしくしらべると、元帥のおえらい所が、よくわかった。次の圖工は、机のしやせいをした。やさしいやうに思へるが、なかなかむつかしい。
午後も、女學校で、自習をした。

毎日しっかりとよく書けました。[illegible]に書きませうね。



八月三十一日(金)

今日は第二日の授業だ。
一時間目はじしゅうなので、私は、日記を中根さんに教へていただいて書いた。
あまりたまってゐるので、一日に四日づつ書く事にした。國語の時間は、綴方を書いた。私は、この前、山下寮から、女學校までまき運びをした事を思ひ出しながら書いた。今度は、けしきも忘れずに入れた。かへしていただくのが楽しみだ。
午後は寮へ帰り、荷持のせいとんをした。お三時に、カンパンとするめをいただいた。どちらも大變おいしかった。

電報

九月一日土曜日曇

今日は九月一日だ。朝會の時さい藤先生から、くわん東大震災のお話しをお聞きした。一時間目は自習なので、枝豆を、枝から取るお手傳ひをした。私は、お勝手仕事やなにかすきでよくやつた事があるのでわりと早く出來た。午前中はづつと自習だつた。午後は學校にいた。お三時に枝豆のおやつがあつた。おやつがすんで、五年生ははたせい作場へ、お机を取りに行らうじやつた。夜、寮へ歸つてから、茂木先生といつしよに、ぜにまはしや、電報や、ゴロゴロ様をして、みんなで樂しく仲よく遊んだ。

九月二日　日曜日　晴

今日は全校たん練日だ。朝食がすむとすぐに、校庭へ出て、中川さんと鐵棒をして遊んだ。

朝會をしてから、しばらく、行進のおけいこや、いろ〳〵の体操をした。日が照り始めて、とても暑いので何をするのもいやになってしまったが、がまんをして一生けん命にやってゐると、何もかも忘れてしまった。

何でも一生懸命やることですね

午後は、寮へ歸り、お洗濯をした。お三時に前田さんのお家の方が、西瓜をわって下さった。甘くて、とてもおいしくいただいた。

九月三日　月曜日　晴曇

今日は第四日目の授業をした。今度から、午前中は三時間で、お晝食で、午後、四時間目をする事になった。三時間目の圖工は、すゐ事場のうらの所にゐるうさぎをしゃせいした。とてもかはいい。まっ白な雪のやうな體に眞赤な小さいお目目が、ぱっちりと開いてゐる。動くので、なかなか書けない。たうたう一時間に、一匹しか書けなかった。四時間目の國語は、東郷元帥の所をやった。

午後は女學校で、お晝寝をしたり、日記を書いたりした。

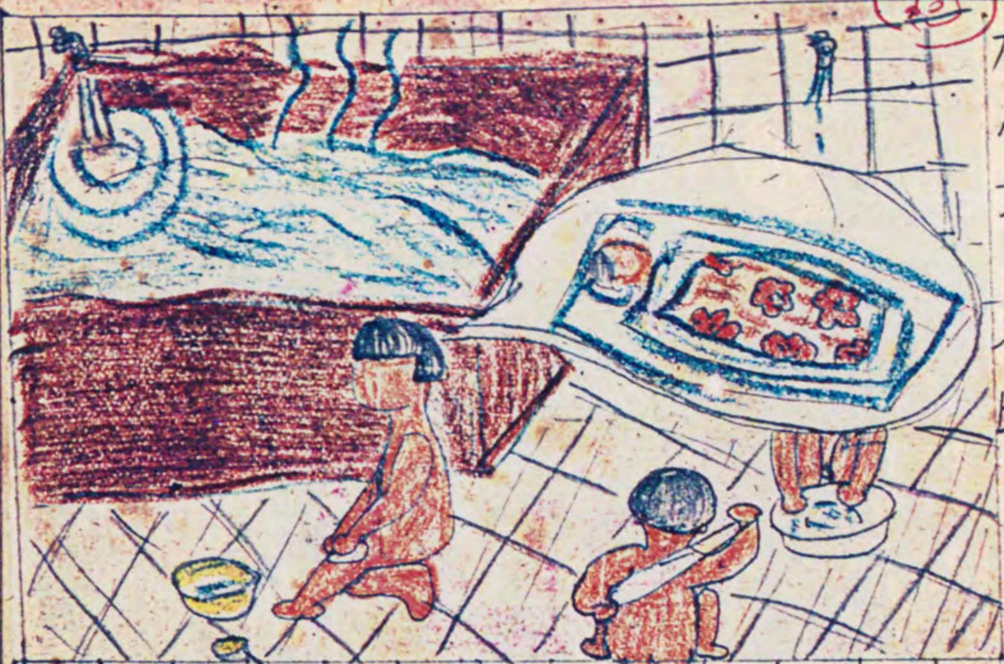
九月四日　火曜日　雨

今日は、朝から雨が降ってゐる。第五日の授業で、圖書館でお勉強をするのだ。三時間目がお習字だが二時間目が自習なので、二時間目に習字をした。私が給やかんに水を汲んで來る番なので、圖書館の水道を出すと、「ジャー」と出たままでしまらなくなって困ってゐると、茂木先生が來てしめて下さった。その時、ほんたうに有がたいと思った。

午後、チリ紙の配きゅうがあった。とてもきれいなちり紙だ。皆、にこ〳〵とうれしさうだ。私もとてもとてもうれしかった。一人、五十枚ずつだった。

九月五日　水曜日　雨晴

今日は安居寺へ行軍だ。朝少し小雨が降ってゐたが少しするとからりと晴れた。秋晴れの上天氣になった。途中に、お宮があって、そこに、色々な色ののぼりが立ててあった。お祭りらしくも思へたがまだなかなかなのかと思って、はりきって歩いてゐると、左に曲って、そこが坂になってゐた。そこをずっとのぼって行くと、二王門があって、りっぱなお寺が立ってゐた。そこが安居寺だった。それから少し宮地先生に、色々な、安居寺について、お話をうかがって、十二時におべんたうをいただいた。蟬が暑つさうに泣いてゐる木がいっぱい生えてゐるので、とてもすずしい。歸りに、西野尻の、のう業會へよって、おやさいを動んで歸った。今日はつかれたのでじゅうしん用意が早かった。



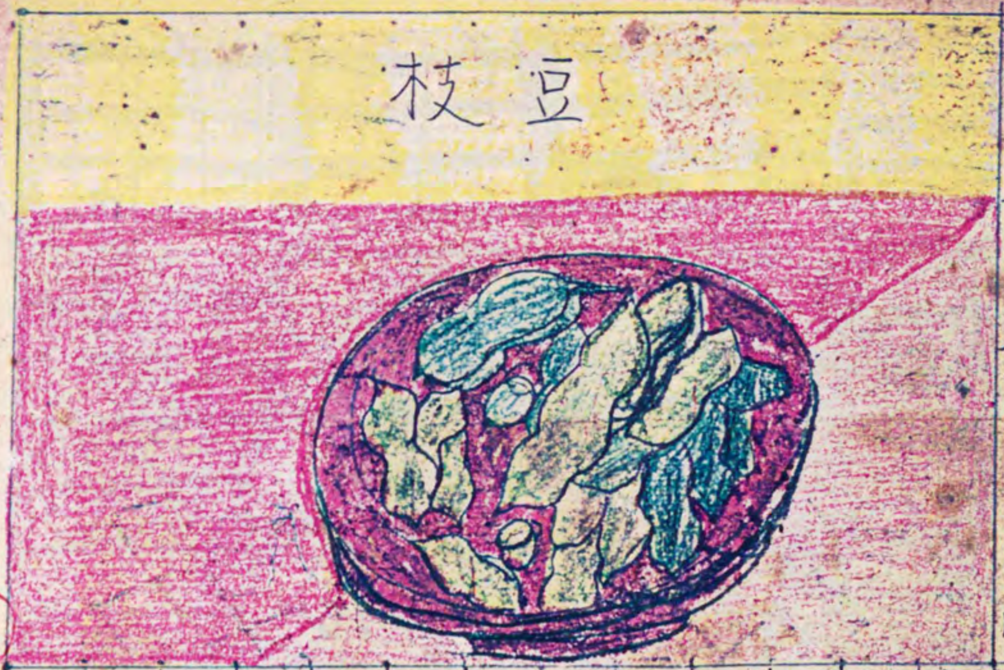
九月六日木曜日　晴

今日は体養日だ。それに、とてもよいお天氣だ。

午前中、寮へ歸って、中川さんといっしよのお机で、日記を書いたり、八ガキを書いたりしてゐると、すぐに出發になってしまった。

午後も寮へ歸ったが、茂木先生は、かぜをお引きになって、ねつがおありになるので、お床におつきになった。お風呂は、二班からは入った。とてもいいお湯だが、茂木先生の事が氣になってしかたがない。なるたけ先生方に、おせわにならないやうにしやう。

どうも有難う。おかげ様で早くなほりましたよ。

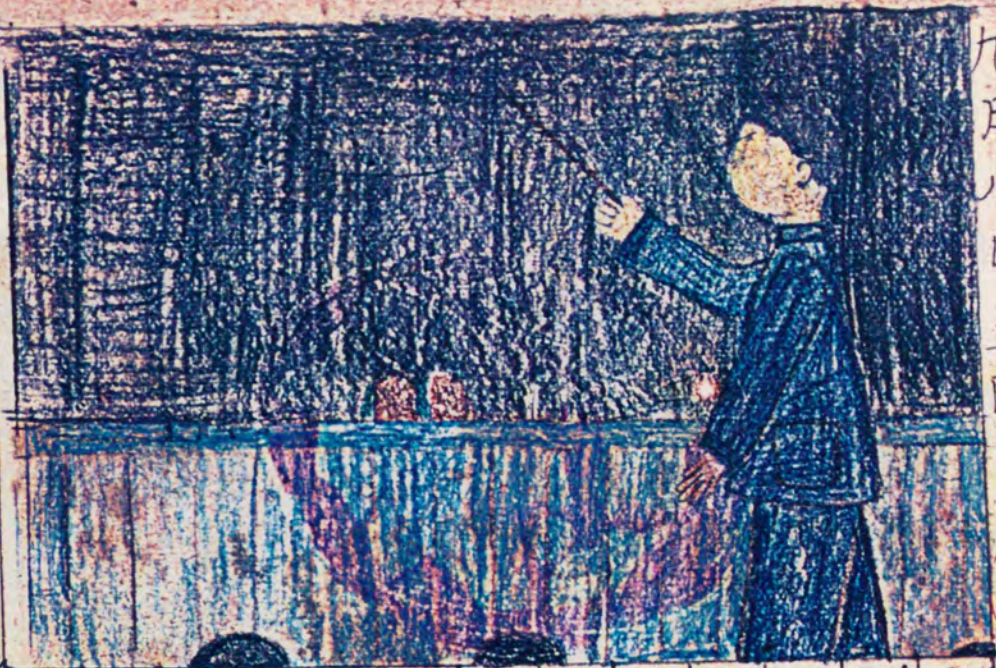


九月七日金曜日　晴雨

今日からは、前とちがう新しい時間表だ。

一日の授業だ。二時間目の圖工は、自習なので私は、持って來た圖畫用紙に、色々な、人のしやせいをした。色もぬった。

午後はやはり女學校で、自習をした。私は、廹水さんと、三年女子の席があいてゐるので、そこでいっしよに並んで日記にせいを出してゐると、お八つに枝豆が出た。とてもおいしかつたが、かたいので、よくかんでいただいた。よくかむと、なほおいしい。お八つの後は、一人でトランプをして遊んだ。



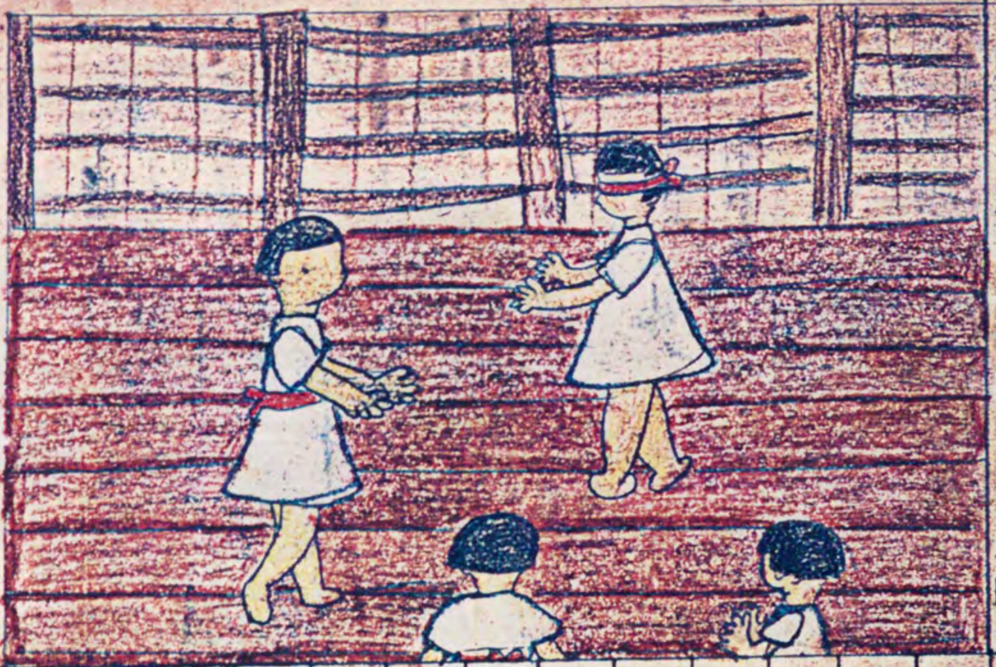
九月八日 土曜日 晴

今日は、二日の授業だ。

二時間目の算數は、むづかしいもんだいをやさしい方法でやる事を加藤先生からおならひした。始めは何がなんだかわからなかつたが、だんだんわかるやうになつて來た。

午後も、女學校でいろ々な事をしてゐると、すぐにお夕食になつてしまつた。

お夕食は、お汁はなくて、おうどんが出た。とても、おいしかつた。これもみんな先生方のおかげだと思つて感しやしていただいた。



面白さうですね

九月九日 日曜日 雨

今日はしゆうるゐきゆう大會だが、雨が降つてゐて運動場がつかへないので福光校の屋内体操場をおかりしてやる事になつた。

四年以下のとうひきゆうの、ゆうしやうは、四年生の赤だつた。私も赤なので、うれしくてうれしくてたまらなかつた。

その後、めかくし鬼をした。二三回鬼が變つて、私が鬼になつた時、集まれがかかつたので、急いで、たすきを取つて集まつた。

晝食の時、かぼちやのおにつけが出た。お腹がすいてゐるのと、甘いのとでとてもおいしかつた。

九月十日月曜日

おとうなす

今日は、第三日目の授業をした。一時間目の算數の時間は、加藤先生に、原子爆彈の しかけをしてある所や、ここを、こうすれば日本にも原子爆彈が出來る。という事を、いろいろお聞した。そのお話をお聞きしてゐる間も、私は「もっと〱理科、科學の勉強をすすめて、アメリカよりか上にならなくてはならない。」と決心した。

午後は、今まで自分が、いやだと思った事やばっぴやう會のだいを書いて茂木先生にお出しした。

おやつに、かぼちゃのにたのが出た。とても甘くておいしかった。私は、福光の方に感しやしていただいた。

九月十一日火曜日

一生けん命

今日は、いつもよりかとても寒いので、私はかすりの洋服を着たら、少し、暖かくなったが、用心にもう一枚着た。

午前中、圖書館で四日目の授業をした。一時間目は自習だった。二時間目の圖工は小刀を、と石でといだ。とてもよく切れるやうになったので、うれしくて〱圖書館に歸るとすぐに、全部、自分の持ってゐるえんぴつをけずった。

三時間目の國語は、二十一くものすには入った。よくよんで、わけをしらべた。

夕方寮に歸って茂木先生や、みんなと、トランプをして、樂しく遊んだ。

九月十二日　水曜日　曇晴

今日は主事先生が、東京から、私達の疎開學園にお歸りになったので十時から、國民學校のお裁縫室で、主事先生からお話しがあった。そのお話しといふのは、疎開はこのままで、いつまでもつづける。といふ事だった。私達は、なんだか、歸られないので、がっかりしたやうな、冬が富山で越せるので、うれしいやうな氣がした。がなんといっても、みんなや先生方と、いつまでもいっしょになられるのが何よりもうれしい。だいたい、十二時にお話しが終った。

午後は寮へ歸って、お風呂へは入ったり、かみ洗ひをしたりした。とてもさっぱりして、よい気持になった。

九月十三日　木曜日

今日は、朝食の前に寺谷先生が、宮地先生に御案内されていらっしゃった。私達、あまり久しぶりなので、どなたかと思ってよく考へて見ると、たしかに見たやうな方だと思ったら寺谷先生だった。鼻の下におひげを生やして、とてもおえらくなったやうに見える。午前中は、第六日目の授業をした。一時間目と二時間目は自習なので、日記を書いた。三時間目の算數のもんだいは、とてもやさしかった。午後は、床屋に行った。四年生は、おほきいじゅんなので、英れい迎へに出られたが、小林さんから少さい人は出られなかった。床屋さんが頭の後をそって下さったので、とてもすうすうしていい気持だ。

九月十五日 土曜日

九月十四日 金曜日

今日は本當は、砂子谷國民學校へ、かぼちゃを取りに行くはずだったが、雨がぽつ／＼降って來たので、四年以下は、桑山へしぜんのかんさつをしに行く事になった。五六年は、砂子谷國民學校へかぼちゃを取りに行って下さった。又桑山の坂を少し上って、一度休けいをして、又上って行くと雨が降って來たがすぐやんでしまった。トンネルの中は、油の臭がどらむくゎんがいっぱいは入ってゐたとてもくさい。それから、宮地先生がお話しをして下さった。とてもおも白いお話しだった。お晝食をいただいて、少ししてから集合して、お花をつみながら歸った。前田寮へ歸って見ると、有賀先生が歸っていらしてゐた。私達はとび上って